

# 新技術交流イベント 2023

in Shizuoka



東アジア  
文化都市  
2023 静岡県  
Culture City of East Asia  
2023 SHIZUOKA

**出展無料**

～Society5.0に向けたふじのくにのすがた～

**出展のご案内**

詳細・お申込みはこちらから

新技術交流イベント2023

検索



**出展募集期間**

7月26日(水)～9月7日(木)

建設現場のニーズと企業等のシーズのマッチングを図ります！



日時

2023年10月24日(火) 10:00～16:00

会場

静岡県コンベンション  
アーツセンター **グランシップ** 1階 大ホール・海

主催

静岡県

お問合せ

静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課(建設技術監理センター)  
TEL:054-268-5004 E-mail:gijyutsu-center@pref.shizuoka.lg.jp

# 新技術交流イベント in Shizuoka 2023

## 開催概要

名称	新技術交流イベント in Shizuoka 2023 ～Society5.0に向けたふじのくにのすがた～
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>建設現場のニーズと企業等が保有する技術シーズのマッチングを図ることにより、建設現場の課題解決が可能な先進技術の現場導入を推進し、生産性の向上につなげます。</li><li>建設技術や建設産業の魅力を広く紹介し、将来の担い手確保につなげます。</li></ul>
日時	令和5年10月24日（火）10：00～16：00
会場	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 1階大ホール・海
主催	静岡県 （事務局：静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課（設技術監理センター））
対象	建設関係企業、建設コンサルタント、研究機関、官公庁、一般

※ 今年度も一般入場可で開催する予定ですが、県内の新型コロナウイルスの感染状況等により、変更になる可能性があります。

## 出展募集技術

- 5分野13の技術テーマから出展技術を募集します。
- 技術テーマ及び現場ニーズの具体例は、P5～P7を参照してください。
- 技術テーマに沿っていれば、現場ニーズの具体例に沿っていない技術でも応募可能です。
- 今年度は、建設発生土の活用に関する技術を特に求めます。

分野1. ICTを活用した  
省力化・省人化

分野2. 設計・施工・  
維持管理・予防保全の効率化

分野3. 工事現場の  
安全環境・作業環境の改善

分野4. 「ふじのくに活用  
促進技術」

分野5. 建設発生土対策

## 応募要領

応募資格	<ul style="list-style-type: none"><li>自社で開発した技術を保有する企業、団体又は個人とします。</li><li>複数の構成員での応募も可能です。</li><li>知的財産権を侵害している技術及び展示物の出展を禁止します。</li></ul>
応募書類	<ul style="list-style-type: none"><li>別添の応募申請書に必要事項を記入の上、応募してください。</li><li>応募申請書は、以下のURLからダウンロードできます。</li></ul> <p><a href="https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kokyokoji/shingijutsu/1055201.html">https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kokyokoji/shingijutsu/1055201.html</a></p>
応募書類の提出	<ul style="list-style-type: none"><li>ふじのくに 電子申請システムにて申請</li></ul> <p><a href="https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=9645">https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=9645</a></p>
応募期間	<ul style="list-style-type: none"><li>令和5年7月26日（水）～9月7日（木）17時まで</li></ul>

# 新技術交流イベント in Shizuoka 2023

## イベント内容

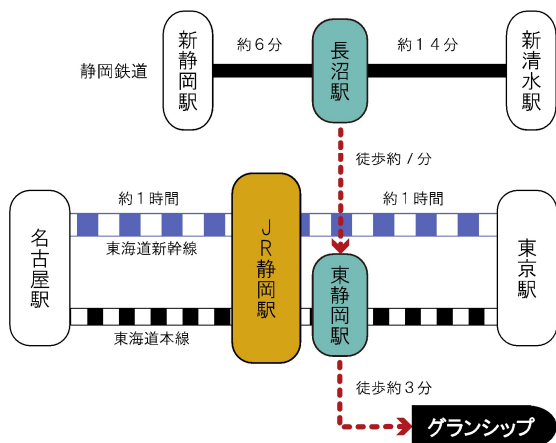
ブース展示	<ul style="list-style-type: none"><li>● パネル等の展示物により、来場者に保有技術等のPRをしていただきます。</li><li>● <b>実演型の展示内容や来場者参加型のブース展示大歓迎です！</b></li><li>● 現場導入等について情報交換をしていただきます。</li></ul>
基調講演 講演	<ul style="list-style-type: none"><li>● 越塚 登 氏 東京大学大学院 情報学環 教授（理学博士）</li><li>● 市川篤志 氏 内閣官房 内閣審議官／地方創生推進事務局長</li><li>● 関口伸吾 氏 コベルコ建機株式会社 新事業推進部 新事業企画グループ</li><li>● 槍田貴宏 氏 株式会社増田組 営業管理部 リーダー</li><li>● 田辺直子 氏 一般社団法人建設ディレクター協会</li><li>● ※ 順不同。現時点での予定であり、変更になる場合があります。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 技術展示とは別に、協会・団体、大学、官公庁等の取組をPRする展示ブースを設け、建設産業の魅力を発信します。</li><li>● 2階の映像ホールでは、株式会社建通新聞社が主催する「技術セッション」が同時開催されます。</li><li>● イベントの様子は後日、県のホームページへアップする予定です。</li></ul>
<h2>留意事項</h2>	
出展の採否	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出展の採否は、応募締め切り後、概ね1週間を目途にお知らせします。</li></ul>
出展費用	<ul style="list-style-type: none"><li>● 主催者へお支払いいただく<b>出展費用はございません。</b></li><li>● 会場までの交通費や、出展に要する経費等は、各自で御負担ください。</li></ul>
ブース構成	<ul style="list-style-type: none"><li>● 寸法は、幅3.0m×奥行2.5mを基本とする予定です。</li><li>● <b>実演型の展示内容や来場者参加型の場合は別途考慮</b>します。</li><li>● 各ブースに、机(1.8m×0.45m)1台、椅子4脚、コンセント1口を配備します。</li><li>● 出展企業、出展技術を案内するプレートを主催者が用意します。</li><li>● ポスターやパネルをブース壁面に展示できます。</li><li>● モニター等の機材の持込やのぼり旗等の設置も可能です。</li><li>● ブース配置は、出展技術が出揃った後、事務局で決定します。</li></ul>
権利関係	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出展者は、提案内容に係る知的財産権その他第三者の権利を侵害しないよう注意し、必要がある場合には、御自身の責任において適切に権利を利用するようにしてください。</li></ul>
CPD・CPDS	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本イベントは、（一社）建設コンサルタンツ協会のCPD、（一社）全国土木施工管理技士連合会のCPDSの認定プログラムとする予定です。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>実演型の展示や来場者参加型の展示を希望される場合は、応募時にその旨御記載ください。</b>詳細は、事務局にて受付け後、個別に調整させていただきます。</li><li>● 応募内容が本イベントの趣旨にそぐわない場合、事務局はお申込みを保留させていただきます。</li><li>● やむを得ない事情により、主催者は予定の一部を変更する場合があります。</li></ul>

# 会場案内

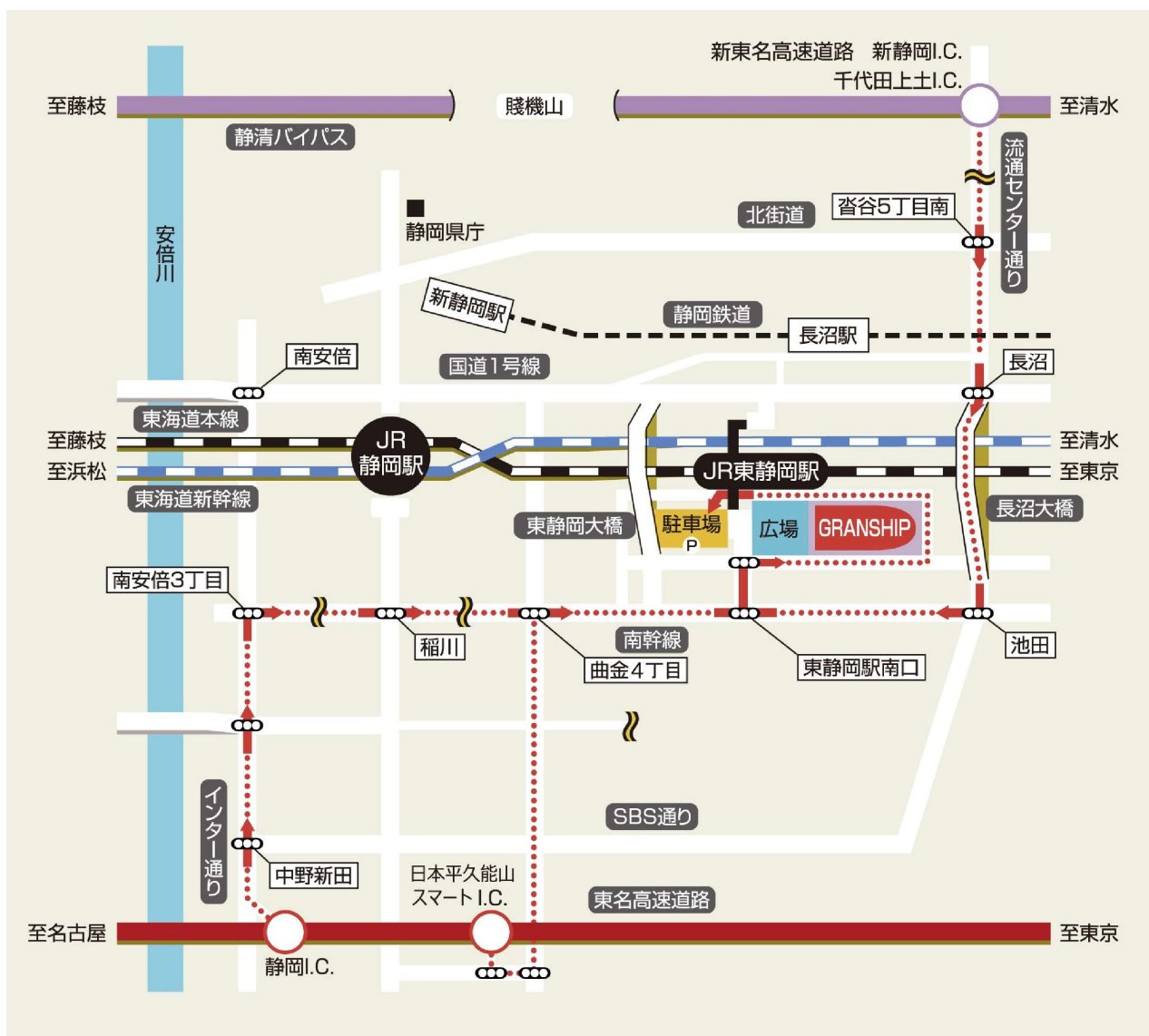
## 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 1階 大ホール・海

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

TEL : 054-203-5713 (代表) FAX : 054-203-6710



- JR東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分
- 静岡鉄道 長沼駅から徒歩約10分
- 東海道新幹線（ひかり）で東京から1時間、大阪から2時間  
JR静岡駅乗り換え、東静岡駅まで3分
- 車では 東名高速道路 静岡ICから6km、約20分  
日本平久能山スマートICから4km、約10分  
新東名高速道路 新静岡ICから9km、約15分  
静清バイパス 千代田上土ICから4km、約10分

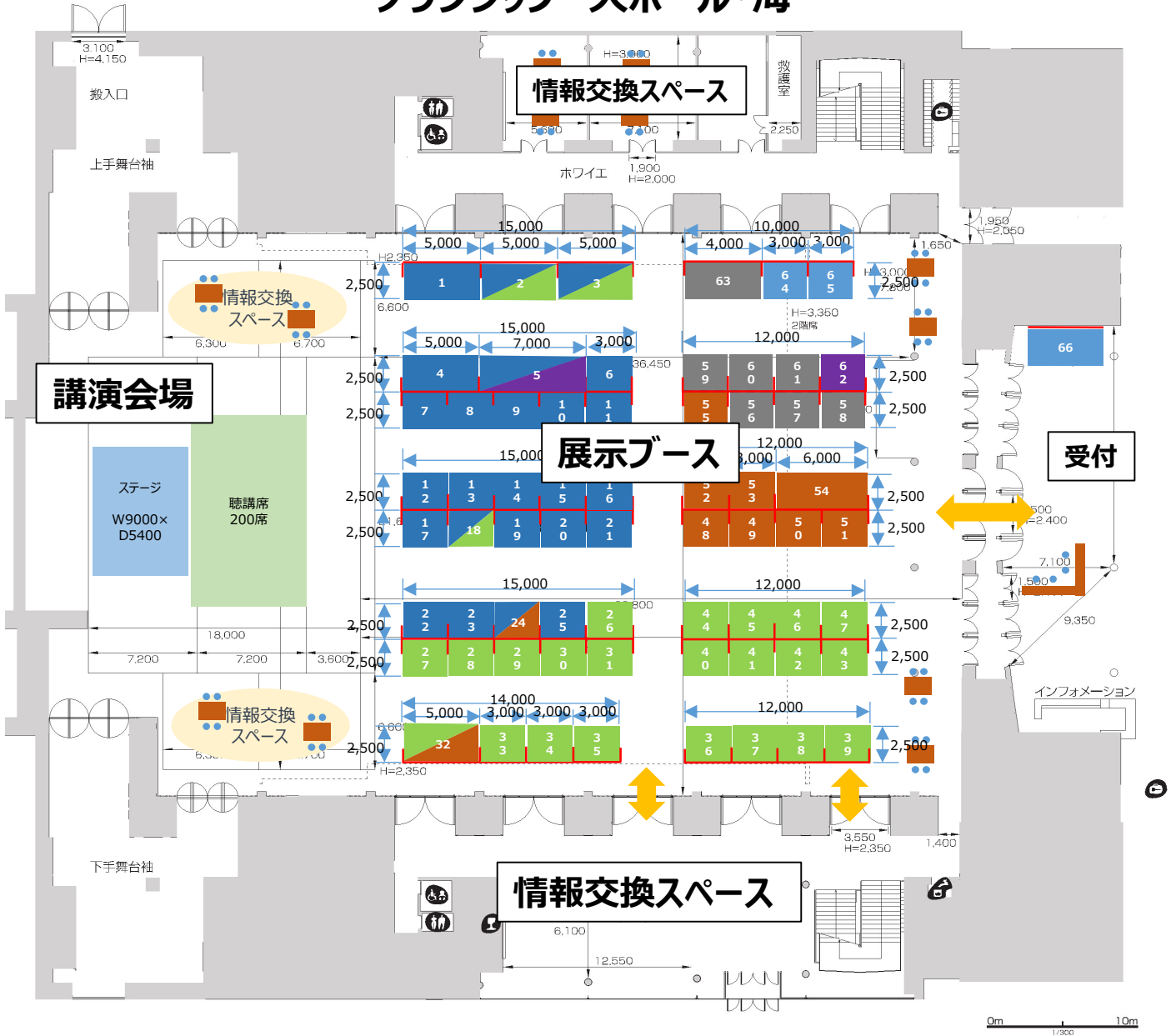




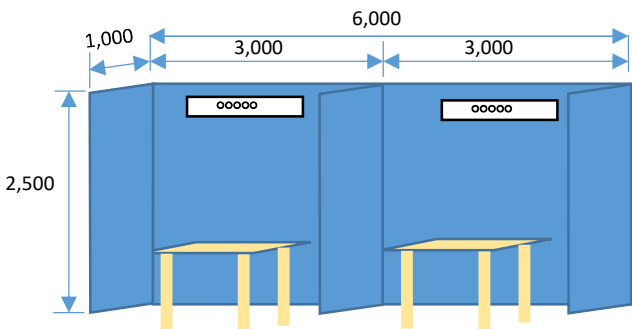
# 会場レイアウト イメージ

※ 現時点でのイメージであり、出展者数によりレイアウトは変更になります。

## グランシップ 大ホール・海



### 各ブースのイメージ



- ひとつのブースの寸法は、幅3.0m×奥行2.5mの大きさを基本とし、奥行1.0mの仕切壁が付きます。
- 各ブースに、机（1.8m×0.45m）1台、椅子4脚、コンセント一口を配備します。
- 出展企業、出展技術を案内するプレートを主催者が用意します。
- ポスターやパネルをブース壁面に展示できます。モニター等の機材の持込やのぼり旗等の設置も可能です。
- ブース配置は、技術テーマごとに事務局で決定します。

No.	技術テーマ及び現場ニーズの具体例 1/3
<b>分野 1. ICTを活用した省力化・省人化</b>	
<b>技術テーマ 1. 調査・測量・設計業務の生産性向上を図るICT関連技術</b>	
1	無人ドローン等による効率的な測量技術
2	道路や橋梁の維持管理・点検の効率化・簡素化が可能となる技術
3	既知の座標点を現場に示すことができる測量機器・技術
4	水中地形を効率的に計測する技術
5	地質情報を3次元化する技術
<b>技術テーマ 2. 施設点検業務の効率化を図るICT関連技術</b>	
6	道路法面等の不安定岩塊を抽出する技術
7	構造物の点検技術
<b>技術テーマ 3. 施工・維持管理の生産性向上を図るICT関連技術</b>	
8	作業員の負担を軽減するパワードスーツ
9	レーザーによる寸法測定により出来形管理を効率化する技術
10	配筋の検査・立会を効率化する技術
<b>技術テーマ 4. 3次元点群データの有効活用により業務・工事の効率化を図る技術</b>	
11	管渠内の3次元点群データを取得する技術
12	3次元点群データの閲覧・計測を容易に行うことが可能な技術
13	高精度の点群データを取得・生成できるデータ処理技術
14	丁張レス施工が可能な技術
<b>分野 2. 設計・施工・維持管理・予防保全の効率化</b>	
<b>技術テーマ 5. 調査・設計業務の精度向上を図る技術</b>	
15	既設鉄筋位置を高精度で探査する技術

No.	技術テーマ及び現場ニーズの具体例 2/3
<b>技術テーマ6. 施工の生産性向上を図る技術</b>	
16	仮締切や仮栈橋の施工性向上技術
17	既設鋼橋の塗装に関する技術
18	狭小現場でも施工可能な地盤改良技術
19	コンクリート打ち継ぎ・仕上げ作業を効率的に行う技術
20	コンクリート打継目処理の効率化が可能な技術
21	狭所でも設置可能な簡易組立足場
<b>技術テーマ7. 維持管理の効率化を図る技術</b>	
22	河川や道路の効率的かつ経済的な除草・防草技術
23	路面補修を簡便に短時間で行うことが可能な技術
24	ボーリング水抜き孔の孔内洗浄を効率的に実施できる技術
25	コンクリート構造物のはく落防止技術
26	既設擁壁の低コストな補強技術
<b>技術テーマ8. 施設点検業務の効率化を図る技術</b>	
27	道路付属施設の劣化状態を非破壊で評価できる技術
28	管渠の老朽化・漏水箇所を簡易に調査可能な技術
<b>分野3. 工事現場の安全環境・作業環境の改善</b>	
<b>技術テーマ9. 交通誘導に関する新技術</b>	
29	交通誘導業務を支援する技術
30	交通規制中の追突事故を減らす技術
<b>技術テーマ10. 公衆災害を防止する技術</b>	
31	地下埋設物や地下空洞の探査を簡易で高精度に行う技術
32	安全な除草に関する技術

No.	技術テーマ及び現場ニーズの具体例 3/3
33	ダンプトラックの積載重量を容易に計測する技術
<b>技術テーマ11. 労働災害を防止する技術</b>	
34	重機と労働者が安全に働くことのできる技術
<b>分野4. 「ふじのくに活用促進技術」</b>	
<b>技術テーマ12. 「ふじのくに活用促進技術」</b>	
35	「ふじのくに活用促進技術」
<b>分野5. 建設発生土対策</b>	
<b>技術テーマ13. 建設発生土対策技術</b>	
36	建設発生土のトレーサビリティ技術
37	建設発生土のマッチング技術